



中学生バス利用者への代替は

問 循環バス久賀ルート廃止に伴い、現在利用している中学生への対応を伺います。
町長 5月の地域公共交通会議で、「保護者の声を聴くことも肝要である」との意見を受け、6月に多古中学校の全保護者を対象に通学手段に関するアンケート調査を実施しました。結果では、循環バス久賀ルートを週に1回以上利用している生徒は25名で、廃止により代替手段の確保が難しいと思われる生徒は1名でした。

問 久賀ルート廃止、中学生へ代替を答 措置が必要と考えます

問 代替手段が難しいと答えた生徒1名への教育委員会の対応を伺います。
教育長 保護者の方への聞き取り調査の結果は、家族で何とか対応できるとのことでした。

問 こども園、小学校は通園バスやスクールバスがありますが、中学生の通学について教育委員会の方針としては、すべて(徒歩または)自転車通学とのことですか。調査では、全中学生285名のうち154名は車での送迎が現状であり、自転車通学には防犯面や気象変動など、安全面で保護者の方の不安があるため、送迎をしているようです。仕事の調整や家族、友人同士で協力し合って車で送迎している状況の中、保護者の方にとっては最終手段であったのが循環バスです。義務教育である中学校には責任があると思います。廃止に対して通学の代替手段を考へるべきではないでしょうか。

町長 一人一人個別の対応が必要だと思えます。担任との面談を含め、再度丁寧な聞き取りを教育委員会と検討してまいります。

教育長 気象変動による猛暑や豪雨の発生、不審者の出現

問 住み続けたいと思える町には、本町に住み続けたい中学生は、約18%と大変厳しい調査結果が出ており、町に興味を持ち魅力を感じていただけるような中・高校生へ向けた取り組みが今後必要だと考えます。現在、町民と行政によるまちづくり市民活動助成金事業が実施されていますが、この事業の青少年向けとして、中・高校生に事業の立案からプレゼンまですべてを任せ、その流れの中で将来の本町に関心や興味を感じていただく、学校では学べない貴重な経験になると思えます



充実した公園整備を

町長 中村地区の(仮称)見晴らしの丘公園については、今年度基本設計業務に着手しました。(仮称)空港を見下ろす公園整備に関しては、芝山町とともに公園を含めた観光拠点整備への検討を重ねましたが、芝山町から一時休止の申し出があり、今後は本町単独で検討を続けます。

問 公園整備の進捗は
町長 現在、本町には本格的な広い公園がありませんが、今後予定されている公園整備事業の詳細を伺います。

町長 近隣の市町で実施していることは承知していますが、補助金をつけたほうが活性化するか、学校予算の中で活動した方が良いのかについては、今後検討してまいります。

菅澤環 議員
所要時間 60分
QRコード

審議結果 (9月定例会)

賛成...○ 反対...× 欠席...欠 退席...退

(議長は採決に加わりません)

Table with columns for 議案番号, 件名と主な内容, 議決結果, and 議席番号 (1-13). Rows include 議案第19号 (病院事業会計決算の認定), 議案第20号 (水道事業会計決算の認定), 請願第3号 (インボイス制度の実施を中止するよう求める請願書), 議案第5号 (圏央道(大栄・横芝間)の早期完成等に関する決議), and 議案第6号 (成田空港の更なる機能強化に関する決議).

ワンポイント
【請願第3号 インボイス制度の実施を中止するよう求める請願書】 継続審査とは？
委員会に付託された案件について、その会期中に審査が終了せず、議会閉会中も引き続き審査を行うこと。委員会が継続審査を求める時は、本会議の議決が必要となる。

討論

賛成



賛成討論 石渡悦子 議員

令和3年度決算に対し討論

全国トップクラスの対応を評価
長引くコロナ禍における厳しい住民生活の現状は、町税・固定資産税・国民健康保険税・介護保険料などの不能欠損額や、納期までに納められない収入未済額に端的に表れています。やむを得ない理由で納付できない場合は、法に則り、納税の猶予や、今、町が行っている分納相談や納税計画制度利用による税の軽減・減免、さらなる各課の連携した取り組みで、住民の暮らしを思いやる、暮らしやすい町づくりを求めます。
令和3年度は、財政調整基金を取り崩すことなく予算編成をし、加えて6億3800万円の積み増しをしました。結果、財政調整基金の残高は21億3200万円に上り、この基金保有高は近年類を見ない状況にあり、健全性と町財政の豊かさが見て取れます。有効に、効果的に住民サービスに資するよう求めます。
政策的前進面の主な点は、4月からこども園給食費が無償化となりました。0歳児から中学3年生まで、所得制限無しの完全無償化は高く評価されます。
こども医療費無料化は、高校3年生から学生22歳まで対象年齢の引き上げが行われました。全国でトップクラスの対応と評価されます。一日も早い窓口無料となる、現物給付化を願うものです。

反対討論はありませんでした